

事業所における自己評価結果 (公表)

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5				利用定員に対して適切なスペースではありますが、スペースに合わせて安全に活動できるようにしています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5				安定した支援ができるように専門性を高める研修を継続します。職員数は、状況を見ながら対応するよう心掛けます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4		1		平面移動ができるように、段差のない環境を整備しています。車いす用トイレも設置しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4		1		業務改善が進むよう、支援方法や1日の反省等を職員同士で共有できるようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		1		保護者対応等でも、意見を伺う機会を設けています。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		2		今後実施していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	1	現在、第三者委員はいません。今後実施予定です。	第三者評価(業者等)は実施していません。今後実施予定です。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		つみきの会の講師によるWebコンサルや訪問コンサル等を実施しています。	つみきの会の講師や静岡市発達障害者支援センター「きらり」等の担当者との連携を密にし、研修に活かしていきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				児童の変化が見られた時など、必要に応じてアセスメントを行っていきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		1	つみきの会の療育プログラムに沿ってプログラムを作成しています。	個々の課題に合わせて、つみきの会のプログラムを取り入れ、臨機応変に対応しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5				個別支援検討会議を実施し、職員の意見を反映しております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5				発達段階に応じたプログラムを用意し、児童の状況に応じた教材を工夫して行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4		1		家庭での状況を共有し、保護者と話し合いながら進めていきたいと思います。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				現在、1対1の個別活動を行っていますが、今後子どもの状況に応じて、1対2等の小集団の活動も検討していきたいと思います。
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5				終礼を行い、その日の情報を共有し、出勤していない職員にも共有できるよう記録を残すようにしています。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5				支援内容や課題、支援の手順等については、事前に確認したり、必要に応じて修正したりしています。今後も継続していきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				日々、ケース記録を記入し、検証、改善に努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5				定期的を実施しています。
その他	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4		1		基本活動を基として、優先順位やその時期に重きを置きたい活動を重点的にを行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5				研修や情報共有のため、児童発達支援管理責任者を中心に、担当の職員の参加も考慮していきます。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3		1	送迎は、ありません。	状況に合わせて学校の手紙を共有するようになっています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			3	現在、対象児童はいませんが、医療的ケアの利用児がいません。	現在、医療ケアを必要とする児童は在籍していませんが、医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合には各関係機関と連携して支援を行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4		1		必要に応じて各機関との情報共有と相互理解に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1		2	今年度、卒業する児童がいません。対象の児童がいません。	現時点で対象の子どもはいませんが、そのような機会があれば、情報を共有してまいります。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		1		必要に応じて各機関と連携し、助言や研修を受けていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	1		今後の課題として検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	2		そのような機会があれば参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				学習活動時やラインなどで、できるだけタイムリーに行うように努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	1	1		家庭支援プログラムは、非常に大切であると思いますので、機会を設け、今後さらに充実するように努めます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5				契約の時に、分かりやすく丁寧に説明しています。質問が出た時は、その都度対応していきます。
	31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				できるだけタイムリーに行うように努めています。必要に応じて専門家とも連携し、情報を提供したいと思います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5			つみ木の会の講師などを招いた保護者会を実施しました。	つみ木の会の講師などを招いた保護者会を実施しました。今後は、事業者内での小規模な保護者会も実施していきたいと思っています。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				日々の学習活動時に保護者に働きかけたり、話しやすい雰囲気を作ったりして対応していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		今後実施予定です。	その都度、公式ラインツールを使用し、発信しています。
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5				個人情報の取扱いについて、具体的に留意する点について話し合う機会を継続していきます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5				子どもや保護者の状況をできるだけ正確に把握するようにし、寄り添う姿勢を大切にしながら行っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	1	今後実施予定です。	事業所が地域の中にあるという認識を深め、可能なことから行っていきたいと思っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5				各マニュアルを策定し、職員同士話し合う機会を設けています。保護者向けには、さらに分かりやすく説明をしていきたいと思っています。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				虐待防止の研修を行い、日々の活動の中で起こりやすい具体的な事例を基に研修を継続していきます。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	5				火災と地震について年2回、活動内で避難訓練を行っています。保護者と連携した訓練を実施していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5				職員会議等で「やむを得ず行う身体拘束」についての知識を共有し、より良い方法を検討します。個別支援計画に明記し、保護者に対して分かりやすい説明をしていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1		3	対象児がいません。食事の提供もありません。	食事を提供していないため非該当です。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5				タイムリーにヒヤリハット事例を共有し、原因と改善点について検討しています。他施設での事例も参考にしています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。